

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	老人保健(医療費給付)	コード	作 成 者	役 職	保健課長
		02-01-08		氏名	有吉隆之
			電 話	64-1819	
			このシート作成に要した時間	1.0 時間	

この施策の アピール ポイント	本施策は概ね法定の事業であり、収納対策等適正な事業実施に努めている。
-----------------------	------------------------------------

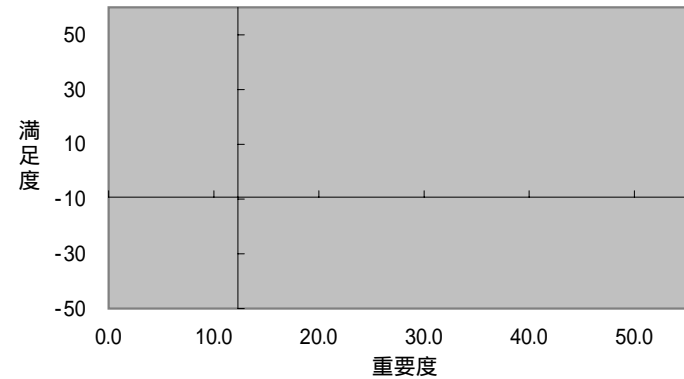
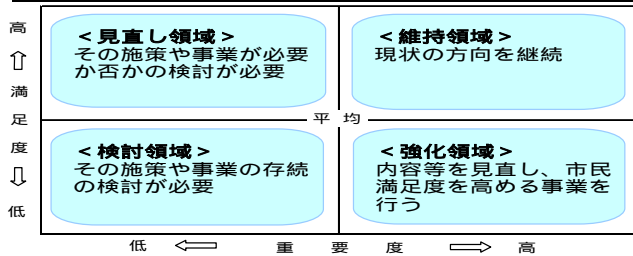
この施策の 平成23年度の 施政方針	老人保健についてであります。高齢化の進展により被保険者は増加しており、本市における後期高齢者医療制度の被保険者は6,400人になると見込まれております。また、これに伴い、医療費も増大していることから、広域連合へ納付する負担金も増加している状況であります。現在の後期高齢者医療制度を廃止した後の新高齢者医療制度については、高齢者医療制度改革会議の平成22年12月の最終答申を受け、23年の国会へ法案を提出し、25年3月から新制度へ移行する予定となっておりますが、1年以上遅れる見込みとなっております。新制度へ移行するまでの間は、健康診査の実施による疾病の早期発見、早期治療を推進し、増え続ける医療費の抑制を図るとともに、高齢者が安心して医療を受けることができるよう制度の運営に努めてまいります。
--------------------------	--

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	基本施策(中項目)	やさしさあふれるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	後期高齢者医療制度を円滑に運営することで、老人福祉の増進に寄与する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	昨今の政治状況等により、制度そのものの今後がまったく不透明な状況となったので、当面、現行制度に基づき適正な事業実施に努める。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現制度の円滑な運営 ・ ・ ・ ・ ・ 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度(%)				
満足度(%)				



調査結果に対するコメント、市民の反応等	後期高齢者医療制度については、引き続き適正に運営を行っていく。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単 位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H21	H22	H23			H24	H28
成果指標 後期高齢者医療制度の備前市負担分の一人当たり費用額	目標	円	67,000	67,000	67,000	年間費用額/対象者数	H24	67,000
	実績	円	75,511	73,405	73,867		H28	-
	達成率	%	112.7	109.6	110.2		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 後期高齢者医療保険料収納率	目標	%	100.00	100.00	100.00	現年度保険料収納率	H24	100.0
	実績	%	98.92	99.36	99.32		H28	-
	達成率	%	98.9	99.4	99.3		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H24	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H24	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
介護保険課	介護予防事業、地域支援事業	医療費適正化のため
保健課 健康係	健康増進事業	医療費適正化のため

施策の評価

項 目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判 断 理 由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	後期高齢者医療制度は、広域連合により運営されているが、国庫負担金等公費の一部として負担している備前市負担金の一人当たり費用額は、療養給付費等の動向を把握するうえでも重要な指標である。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	制度運営を適正に行っている。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	高齢者が安心して医療を受けられる体制維持のため、必要な施策である。	
進行年度(H24年度)の取組内容(課題解決状況)		適正な事業執行に努める。制度改正等の情報の入手に努める。	
翌年度(H25年度)の取組目標		適正な事業執行に努める。制度改正等の情報の入手に努める。	
二次評価者コメント		後期高齢者医療制度の今後の方向が不透明になってきたものの、情報収集には努めてください。	基本施策への貢献度 3 中立
役職 氏名	保健福祉部長 金光 亨		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度
			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
1 老人保健制度維持事業	管理事業	単市	102	76	0.01	23	0	0.00	0	0	0.00	0	
	補助金・交付金・繰入金返還事業	単市	7,285	76	0.01	742	0	0.00	281	0	0.00	0	
	繰出金	内部管理	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	
2 老人医療費給付事業	医療給付事業	法定	155	0	0.00	0	78	0.01	0	0	0.00	0	
	医療費支給事業	法定	144	76	0.01	0	0	0.00	0	0	0.00	0	
	審査支払事業	単市	1	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	
3 後期高齢者医療事業	後期高齢者医療事業	法定	432,931	11,145	1.50	452,131	9,343	1.21	462,768	7,157	1.12	471,057	
	後期高齢者健診事業	法定	6,342	640	0.08	6,109	233	0.03	5,075	384	0.05	9,572	
4 後期高齢者医療広域連合負担金事業	後期高齢者医療広域連合負担金事業	法定	467,262	0	0.00	470,222	155	0.02	483,165	0	0.00	500,634	
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			914,222	12,013	1.61	929,227	9,809	1.27	951,289	7,541	1.17	981,263	